

「混沌の時代を多様な視点で乗り切る」～コロナ後に必要なリーダーシップとネットワークとは何か～

研究会ポイント

- ◎ コロナ禍で、女性活躍の推進企業の環境変化とは
- ◎ 組織とリーダーシップの変化と新たな取り組み方とは
- ◎ 社内コミュニケーションと今後に必要なスキルとは

パネラー



kay me Ltd. 代表 兼 リードデザイナー 毛見 純子 氏

早稲田大学卒業後、ベネッセコーポレーションで、営業とマーケティングに従事。若手幹部候補の新規事業コンテスト入賞。複数のコンサルティング・ファームで組織人事、経営戦略。2008年マーケティングコンサルティング会社を立ち上げ、代表。11年にkay me 事業、代表とリードデザイナーも務める。日本政策投資銀行「DBJ 女性起業大賞」、MIT「ベンチャーフォーラム優秀賞」など、多数受賞。

パネラー



連合神奈川 女性委員会 委員長 今村 玲 氏

津田塾大学卒業。神奈川県立高等学校総括教諭、2018年より神奈川県高等学校教職員組合・書記次長(専従)。18年12月より連合神奈川女性局長、女性委員会委員長、男女平等参画推進委員会副委員長。連合では、6月の男女平等月間では女性対象の労働相談ホットライン対応、学習会の開催、連合寄付講座「男女平等参画社会の実現に向けて」(神奈川大学・関東学院大学)講師等。

コーディネーター



法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授 高田 朝子 氏

モルガン・スタンレー証券会社勤務を経て、サンダーバード国際経営大学院国際経営学修士(MIM)、慶應義塾大学大学院経営管理研究科経営学修士(MBA)、同博士 課程修了。経営学博士。専門は危機管理、組織行動。著書に『女性マネージャーの働き方改革 2.0』『女性マネージャー育成講座』ともに生産性出版など多数。

高田 朝子 氏 生産性出版 書籍 当日会場にて特別価格で販売



男女を問わず、自然体な働き方をするために大事なことは何か。女性を指導、応援する立場にある「上司のマインドセット」に見る阿吽の呼吸は通用しない前提で、どんなことでも言語化する習慣をつける視点から整理する。



女性スタッフが力を発揮でき、働きやすい環境を用意することが将来、喜んで管理職、マネージャーやリーダーになることにつながる。そのため「7つの行動ルール」により、発想と着眼点で働き方を変える必要がある。

参加形式 (選択制: 会場参加、またはライブ中継のどちらかを選択してください)

会場参加: J A 共済ビル カンファレンスホール にて聴講
ライブ中継: WEB オンラインにて聴講

お申し込み方法

「お申し込み書」にご記入の上、FAX又はメールにてお送りください

お申し込み締め切り日

2021年2月1日(月) 12:00 (開催10日前に、参加証をメールいたします。多数お申込みの場合は、抽選となります)

日本生産性本部では、賛助会員の皆さまへ年10回ほど、「会員月例研究会」(会員無料)を開催しています。最新の社会経済テーマに即した内容となっております。新潟県生産性本部会員は無料でご参加いただけます。



日本生産性本部
JAPAN PRODUCTIVITY CENTER

新潟県生産性本部
〒950-0965 新潟市中央区新光町7-2 新潟県商工会館4階
TEL 025-290-7127 FAX 025-290-7821
<https://www.n-seisanseihonbu.com>

新潟県生産性本部

検索